

## 研究の背景・目的

近年、スギ・ヒノキ林が伐採面積が拡大しつつあります。伐採後には再び造林する必要がありますが、再造林を行うには下刈り（下草刈り）などに高額な経費を要します。そこで、生長量が大きく、下刈りを省略できるスギ品種が求められています。また、社会問題となっているスギ花粉症に対応するため、無花粉スギも必要です。本研究では育種手法としてイオンビーム照射等による突然変異育種を用いて、高成長や無花粉のスギ品種の開発を目指します。

## 研究方法

種子にイオンビーム等の放射線を照射します。これを播種・育苗したのち、交配等により成長の旺盛な個体を選抜します。本年度はつぎの試験を行います。

- 1) イオンビーム等を種子に照射したのち、苗を育苗し成長を調査します。
- 2) 昨年度、照射・育成した苗にジベレリン処理を行い、花粉形成能力を調査します。



スギ 種子



2年生苗木に形成された雄花

## 研究成果の活用・今後の研究計画

本研究によって、成長の良いスギ品種が開発できると期待されます。本品種は造林後早く成長するため、下刈りを省略できると考えられます。下刈り費用を含む育林コストを大幅に削減することができます。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER  
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 森林保護育成科  
研究担当者 : 陶山 大志 (すやま ひろし)

問い合わせ先 : 0854-76-3823

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 低コスト育林に向けた高成長スギ品種の開発 (H26)